

日本医療政策学会 第2回学術集会

プログラム

開催概要

日時 2026年6月20日（土）9:00-17:55

※ 受付開始：8:30 から

会場 京都大学

- ・ 百周年時計台記念館 百周年記念ホール
- ・ 法経済学部本館および東館

大会長 近藤 尚己

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 社会疫学分野

テーマ 公正性と包摂性を目指す EBPM

「誰も取り残さない」医療政策のマネジメントと評価を考える

■ プログラム委員

加藤 源太（委員長）	京都大学医学部附属病院
近藤 尚己	京都大学
伊藤 ゆり	神戸大学／大阪医科薬科大学
井上 浩輔	京都大学
植野 剛	京都大学
佐藤 豪竜	慶應義塾大学
堀松 高博	京都大学医学部附属病院
宮脇 敦士	筑波大学
森 由希子	京都大学医学部附属病院
吉村 健佑	千葉大学

（敬称略・順不同）

■ 実行委員

加藤 源太（委員長）	京都大学医学部附属病院
植野 剛	京都大学
北田 雅	京都大学経済学研究科
堀松 高博	京都大学医学部附属病院
三保 健	千葉大学医学部附属病院
森 由希子	京都大学医学部附属病院

（敬称略・順不同）

日本医療政策学会 第2回学術集会 タイムテーブル

2026/6/1版

時間	百周年記念ホール (500名)	法経済学部本館1階 5番教室 (253名)	法経済学部本館1階 7番教室 (354名)	法経済学部東館3階 311号室 (98名)	法経済学部東館1階演習室
8:30				受付 (法経済学部東館入口)	
9:00		9:00 一般演題 口演 健康格差・アクセス格差	9:00 一般演題 口演 医療財政・医療経済	9:00 病院管理学会 Joint Session	9:00
9:55		9:55	9:55	9:55	
10:00		10:00 一般演題 口演 公衆衛生・予防政策	10:00 一般演題 口演 医療の提供・利用	10:00 一般演題 YIA	
10:55		10:55	10:55	10:55	
11:00	11:05 企画シンポジウム① 「誰も取り残さない」ケアの EBPM	11:05 学生セッション 日本医療のこれから15年を語る ～識者と学生の対話から展望す る2040年の医療制度～	11:05 企画シンポジウム③ 医療政策形成と実装をつなぐ対 話 多様な組織の提言から共通 課題と将来像を整理するー		9:00
12:00	12:00	12:00			
12:10	12:10 ランチョンセミナー 株式会社JMDC	12:10 ランチョンセミナー ノバルティスファーマ株式会社			
13:00	13:00	13:00	13:00		13:00
13:10	13:10 13:25 13:25 大会長講演				
13:25	13:25 基調講演				
14:00	14:15 14:20 メインシンポジウム 包摂で公正な医療の普及に必要な エビデンスは何か ：高額療養費制度を例に				
15:00	15:50				16:00
16:00	16:00 企画シンポジウム② 民主社会の医療政策形成におい て今後のSPHIに期待すること				16:00
17:00	17:00				16:00
17:30	17:30 総会				17:25
17:55	17:55				
18:00	18:20				
19:00		懇親会 会場：吉田食堂2階			
20:00					

※タイムテーブルは予告なく変更する可能性があります。

百周年時計台記念館 百周年記念ホール

企画シンポジウム①

11:05-12:00

「誰も取り残さない」ケアのEBPM

企画趣旨 人生100年時代となり、福祉やソーシャルワーク（あるいは地域共生社会、重層的支援体制整備事業・社会的処方等）、地域包括ケア（あるいは地域看護・公衆衛生看護）、社会的孤立・孤独対策、そして社会的処方といった、患者ないし住民の社会生活機能の維持とウェルビーイングの醸成を目指すケアのニーズが高まっている。こういった医療の周辺領域との連携による包括的なコミュニティ・ケアを視野に入れたEBPMを考える。

座長 近藤 尚己 京都大学
 齋藤 雅茂 日本福祉大学
 座長による問題提起：EBPM論への誤解と希望

演者1 西岡 大輔 神戸大学
 福祉のEBPM

演者2 長嶺 由衣子 厚生労働省
 介護のEBPM

演者3 長谷田 真帆 京都大学
 地域包括ケア・ウェルビーイング達成に向けたEBPM

討論 公正で包摂的なhealth promotingなケアに向けたEBPMの在り方：手法論ではなく、多様なステークホルダーとの「熟議」を可能とするデータの創生と活用をいかに進めるかを議論する。

大会長講演

13:10-13:25

近藤 尚己 京都大学

基調講演

13:25-14:15

社会政策とウェルビーイング：日本社会の3つのパラドクスからの考察

イチロー・カワチ ハーバード大学

メインシンポジウム

14:20-15:50

日本医学会連合 TEAM 事業「持続可能なユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）と公平な制度設計に寄与する領域横断的データサイエンス研究事業」共催

包摂で公正な医療の普及に必要なエビデンスは何か：高額療養費制度を例に

企画趣旨 患者など当事者ととともに制度見直しを行っていくために、どのようなエビデンスや合意形成のプロセスが必要なのかを考える。

座長 近藤 尚己 京都大学
 伊藤 ゆり 神戸大学／大阪医科薬科大学

演者 天野 慎介 全国がん患者団体連合会
 國頭 英夫 日本赤十字社医療センター
 中対 剛 京都大学
 阿部 圭史 衆議院議員

モデレータ 市川 衛 武蔵大学

百周年時計台記念館 百周年記念ホール

企画シンポジウム②

16:00-17:00

民主社会の医療政策形成において今後のSPHに期待すること

企画趣旨 日本の医療政策（Health Policy）において、SPHは研究・教育・政策形成・人材育成に幅広く貢献してきました。医療政策を取り巻く環境が大きく変化するなか、エビデンスに基づく民主社会の医療政策形成において、SPHに期待される役割はますます増えつつある。本シンポジウムでは、これまでの我が国の20年余のSPHの医療政策への貢献や特有の課題を振り返り、その経験から何を継承し、次世代のSPHがどのような役割を果たすべきかを議論し、医療政策研究・教育のさらなる発展につなげることを目的とする。

モデレータ 宮脇 敦士 筑波大学
演者 今中 雄一 京都大学
井上 まり子 帝京大学
津川 友介 カリフォルニア大学ロサンゼルス校
磯 康博 国立健康危機管理研究機構

総会

17:30-17:55

吉田食堂 2階

懇親会

18:20-20:00

※プログラムは予告なく変更する可能性があります。

法経済学部本館 1階 5番教室

一般演題：健康格差・アクセス格差 9:00-9:55

座長	伊藤 ゆり	神戸大学／大阪医科薬科大学
口演-1	Sex-Specific Differences in Premature Heart Failure in Japan 森 雄一郎	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康行動・増進学
口演-2	健康および資産とウェルビーイングとの関連：31 か国の統合データに基づく検討 玉田 雄大	東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学
口演-3	機能的能力の軌跡と幸福度の関連：地域在住高齢者 4 波パネルを用いた検討 西尾 麻里沙	大阪医科薬科大学医学部医療統計学研究室
口演-4	神戸市内中学校区別健康寿命格差の評価：社会環境要因を用いた小地域モニタリング 片岡 葵	神戸大学大学院
口演-5	遺伝性腫瘍を起点とした遺伝教育に関する策提言：学校教育・市民啓発の新たな方向性 十川 麗美	Policy makers lab 香川大学医学部附属病院臨床遺伝ゲノム診療科

一般演題：公衆衛生・予防政策 10:00-10:55

座長	森 雄一郎	京都大学
口演-6	院内がん登録と DPC データを活用した全国がん医療の質評価 (QI) 研究：均てん化の推進と政策への応用 石井 太祐	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部
口演-7	回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群リハビリテーション料の提供効果と異質性検証 谷 拓朗	昭和医科大学薬学研究科薬剤疫学部門
口演-8	がんの施設別調整死亡率に関する標準化手法の比較 町田 康一	東京大学医学系研究科公衆衛生学分野
口演-9	保健・医療・介護分野における社会的インパクト評価普及に向けたコンセンサスガイドラインの作成 高木 大資	京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座
口演-10	心筋梗塞後患者における全死亡および心筋梗塞の再発に対する認知行動療法の効果の異質性について：機械学習手法を用いた ENRICH 試験事後解析 竹村 優太	東京大学医学部附属病院精神神経科 国立精神・神経医療研究センター病院精神科

法経済学部本館 1階 5番教室

学生セッション

11:05-12:00

日本医療のこれから 15 年を語る ～識者と学生の対話から展望する 2040 年の医療制度～

座長	吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター
	平井 貴大	山口大学
演者	石井 洋介	医療法人社団おうちの診療所
	稲葉 可奈子	Inaba Clinic
	松本 晴樹	厚生労働省
	安藤 裕基	東京大学
	佐々木 怜美	横浜市立大学
	安原 昌紀	京都大学

ランチョンセミナー

12:10-13:00

共催：株式会社 JMDC

AI エージェント時代の EBPM

モデレータ 福間 真悟 京都大学／広島大学

演者 横関 智一 株式会社 JMDC

AI エージェントによる分析の民主化は、エビデンス生成をどう変えるか

三澤 大太郎 株式会社キャンサーズキャン

AI エージェントの信頼性をどう担保するか～AI Agent 実装と Harness 設計～

※プログラムは予告なく変更する可能性があります。

法経済学部本館 1階 7番教室

一般演題：医療財政・医療経済 **9:00-9:55**

- 座長 加藤 弘陸 横浜市立大学
-
- 口演-11 高齢化等の人口要因以外で医療費増加を主導しているのは何か
中対 剛 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター
-
- 口演-12 難治性重症筋無力症に対する高額薬剤治療の包括的経済評価：リアルワールド
データを用いた医療費・労働生産性損失・医療資源利用の実態分析
大森 茂樹 慶應義塾大学
-
- 口演-13 静岡県市町国民健康保険データベースを用いた非破裂腹部大動脈瘤に対する血
管内治療（EVAR）と開腹手術の長期成績および医療費の比較
植木 力 静岡社会健康医学大学院大学
-
- 口演-14 Income Shocks and Obesity in Urban China: Evidence from SOE Reform
徐 展 Osaka School of International Public Policy
-
- 口演-15 小児慢性腎臓病患者の保護者における労働生産性損失と日常活動障害：対照群
比較・疾患群別 Web 横断研究
本多 貴実子 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

一般演題：医療の提供・利用 **10:00-10:55**

- 座長 小林 大介 滋賀医科大学
-
- 口演-16 ロボット手術の診療報酬評価はどのように決定されているのか —2026 年診療
報酬改定におけるパラダイムシフト—
古元 重和 北海道大学大学院医学研究院医療政策評価学教室
-
- 口演-17 選定療養費の徴収が救急搬送に与える影響と救急車の有料化
田邊 晴山 救急救命東京研修所
-
- 取下** 口演-18 韓国における地域完結型「必須医療」崩壊危機の克服に向けた戦略：国立大学
病院の拠点化と医療提供体制の機能的再編
金 道勲 韓国病院政策研究院・高麗大学高齢社会研究院
-
- 口演-19 医師数減少に関する施策の検討—医学部廃止の観点から—
明神 大也 国立大学法人浜松医科大学健康社会医学講座
-
- 口演-20 医療機器における患者フレンドリーネスの概念化：患者参画を促進する制度設
計に向けて
大沼 雅也 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院

※プログラムは予告なく変更する可能性があります。

法経済学部本館 1階 7番教室

企画シンポジウム③

11:05-12:00

医療政策形成と実装をつなぐ対話

—多様な組織の提言から共通課題と将来像を整理する—

座長	後藤 励	慶應義塾大学
	堀松 高博	京都大学
演者	崎田 恭平	一般社団法人エビデンススタジオ
	乗竹 亮治	特定非営利活動法人日本医療政策機構
	福岡 功慶	Policy makers lab
	扇屋 りん	一般社団法人 CancerX

ランチョンセミナー

12:10-13:00

共催：ノバルティスファーマ株式会社

経営・経済学の観点から考える「日本の創薬エコシステム構築によるイノベーション促進」

座長	五十嵐 隆	国立成育医療研究センター
演者	堀井 亮	大阪大学
	イノベーションフロンティアと日本	
	牧 兼充	早稲田大学
	スタートアップが拓く日本の創薬イノベーション	
ディスカッション	小久保 欣哉	二松学舎大学

※プログラムは予告なく変更する可能性があります。

法経済学部本館 3階 311号室

病院管理学会 Joint Session

9:00-9:55

科学的合理性と社会的正当性の不一致をいかに克服するか——医療政策とエビデンスの乖離の形成過程と政策設計への示唆

座長 森 由希子 京都大学
 演者 宮脇 敦士 筑波大学
 森 由希子 京都大学
 佐藤 大介 藤田医科大学
 平木 秀輔 関西学院大学

※ 座長は「加藤 源太（京都大学）」から変更になりました。

一般演題：YIA

10:00-10:55

座長 近藤 尚己 京都大学
 佐藤 豪竜 慶應義塾大学

口演-21 出生コホート別 HPV ワクチン接種率と生涯子宮頸がん罹患リスクの推計：接種勧奨に関する政策の影響

八木 麻未 大阪医科薬科大学医学部医療統計学研究室
 和歌山県立医科大学先進予防・健康医学

口演-22 黒人男性における患者－医師間の人種一致が予防医療サービス需要にもたらす効果の異質性の検討—機械学習を用いた医療資源配分戦略の探索

池洲 諒 京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野

口演-23 親の急病が子供の医療利用に与える影響について

柳 垠希 慶應義塾大学院経営管理研究科後期博士課程

口演-24 子ども医療費助成制度の高校生に対する助成拡大が医療利用に与える影響

中野 領也 慶應義塾大学大学院経済学研究科

口演-25 現場から動かす医療政策 — 災害復興と国境医療におけるレジリエンス設計の実践

平山 貴一 京都大学医学大学院医学研究科フィールド医学教室

※プログラムは予告なく変更する可能性があります。

法経済学部東館1階演習室105

企業展示

9:00-17:25

企業名（順不同）

アステラス製薬株式会社
 公益財団法人医療科学研究所
 PHR サービス事業協会
 一般社団法人地域枠医師等キャリアデザイン機構
 小樽商科大学
 一般社団法人 CancerX

法経済学部東館1階演習室106, 107, 108

ポスター展示

9:00-16:00

ポスターセッション

16:00-17:25

法経済学部東館1階演習室106

演題番号 ポスター演題名

筆頭演者氏名 筆頭演者所属

P-1 視覚障害者向けナビゲーションデバイス「Ashirase」の医療経済評価に関するフィージビリティスタディ
 深宮 智史 株式会社 The Elements
 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

取下

P-2 Partner- and mode-specific social contact and poor mental health days among older adults in Japan: a nationwide cross-sectional analysis of JACSIS 2024 study
 Kazumi Kubota Research Organization, Shimonoseki City University

P-3 医療施設における外来待ち時間と付き添い者の生活・就業への影響の検討：オンライン調査
 三浦 武 横浜市立大学医学部看護学科

P-4 Trends in geographical maldistribution of obstetricians and gynecologists over two decades: Spatial statistical and time-series analysis
 Snehal Kapse Division of Community and Family Medicine, Center for Community Medicine, Jichi Medical University, Japan

P-5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける協議会の運営類型：潜在クラス分析による検討
 片岡 真由美 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部

日本医療政策学会 第2回学術集会 プログラム

演題番号	ポスター演題名	筆頭演者氏名	筆頭演者所属
P- 6	我が国における胃・十二指腸潰瘍の患者数の推移及び患者数の変化に影響を及ぼした要因について	二階堂 萌子	北海道大学医学部医学科
P- 7	急性期病院における看護師1人あたりの受け持ち患者数と missed nursing care の関連	森岡 典子	国立保健医療科学院疫学・統計研究部
P- 8	医療における"Choosing wisely (賢明な選択)"の実現をめざして	小泉 俊三	一般財団法人東光会総合医学研究所 Choosing Wisely Japan
P- 9	健康医療相談を活用した不要不急な受診 および医療費抑制効果について	鴻池 大介	ヘルスケアテクノロジーズ株式会社渉外室
P- 10	Physicochemical Qualities of Bottled-Water Produced and Sold At Selected Cities of Abia and Imo State Nigeria.	Victor Ugochukwu Obisike	Abia State University, Uturu Nigeria
P- 11	兵庫県養父市における社会的処方プログラムに対する健康影響予測評価 (Health Impact Assessment) の実践	北出 緋里	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座社会疫学分野
P- 12	Surgical Intervention Rate and In-Hospital Mortality by Dementia Status in Older Adults With Severe Blunt Trauma	渡邊 達也	筑波大学医学医療系社会医学研究グループ公共健康政策分野 筑波大学附属病院救急・集中治療科
P- 13	政策医療に関する概念整理のためのスコーピングレビュー	渡邊 亮	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
P- 14	医療従事者の政策意識と行動の乖離に関する探索的研究	藤原 健祐	小樽商科大学大学院商学研究科
P- 15	熊本地震に関する厚生労働省通知群を用いた法制度運用上のギャップの可視化—公開文書に基づくラピッドレビュー型文書分析と法制度整備への示唆—	香田 将英	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療共育推進オフィス
P- 16	都道府県がん診療連携協議会における集約化の価値認識と関連事項：全国質問紙調査	江頭 勇紀	国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部 同 がん情報提供部

法経済学部東館 1階演習室 107

演題番号	ポスター演題名	筆頭演者氏名	筆頭演者所属
P- 17	減価通貨による医療費財源の設計 —Grossman 健康資本モデルに基づく医療費と通貨の時間特性マッチング—	藤井 佑機	山口大学医学部
P- 18	非常住人口による医療需要の評価 — 富士山・山中湖村における「非常設医療機関」の意義と配置条件の検討 —	萱原 慎太郎	千葉大学医学部医学科
P- 19	病院不動産の流動化が医療法人の財務状況に与える影響について	加藤 雄馬	株式会社シーユーシー・ホスピス 慶應義塾大学大学院経営管理研究科
P- 20	K コードの後継を探る —国際的医療介入分類 (ICHI) および STEM7 について—	阿部 幸喜	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
P- 21	Workforce Supply and Health Outcomes: The Case of Public Health Nurses in Japan	Xuanzi Zuo	Osaka School of International Public Policy
P- 22	訪問診療における実臨床データに基づく予後予測システムの構築と医療政策への応用	梅村 将成	一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク
P- 23	保険適用後における生殖補助医療の地域差と治療負荷の検討：国民健康保険レセプトデータを用いた都市部・非都市部の比較研究	新妻 雄介	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科
P- 24	AYA 世代がん患者向けピア・サポートにおけるメタバース空間活用の有用性と展望	大木 優利	聖路加国際大学
P- 25	北海道内二次医療圏別にみた自治体病院の経営動態と人的資源に関する 10 年間の時系列分析	加藤 昂太	株式会社北海道共創パートナーズ
P- 26	「個人のレセプトデータ利用について」 AI 介入すれば、疾患管理と医療費適正化に資するものになるのでは	浅田 佳邦	医療法人浅田クリニック 甲賀湖南医師会
P- 27	救命救急センターにおける施設基準病棟構成の実態と関連要因の検討	上村 修二	札幌医科大学医療安全・病院管理学講座/救急医学講座
P- 28	民間病院主体の医療提供体制の形成過程と日本の病床過多構造 — 医療政策史的分析	谷口 智也	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター救急・総合診療科

日本医療政策学会 第2回学術集会 プログラム

演題番号	ポスター演題名	筆頭演者氏名	筆頭演者所属
P- 29	地理情報システム(GIS)を用いた全国の分娩施設減少の可視化とアクセシビリティ分析	米田 瀬奈	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野
P- 30	家族性高コレステロール血症における LDL-C 遷移の停滞構造と予算影響分析 — FH-BURDEN 研究 —	後藤 景子	順天堂大学臨床遺伝学研究室
P- 31	医療機器償還価格における事前的ゲインシェアリング：経済性加算の初期適用事例の分析	笠原 真吾	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
P- 32	公衆衛生介入が子ども・青少年の口腔健康に与える影響：公正性の視点からのスコopingレビュー	多和 実月	京都大学大学院医学研究科社会疫学分野

法経済学部東館 1階演習室 108

演題番号	ポスター演題名	筆頭演者氏名	筆頭演者所属
P- 33	女性は男性より介護サービスを多く利用するのか？ — 大腿骨骨折後の性差とその要因に関するナラティブレビュー	劉 寧	広島大学医学部公衆衛生学
P- 34	看護配置基準の異なる病棟における夜間ケアの不十分性と公正性の検討	藤崎 雅実	医療法人鳳生会成田病院
P- 35	Library Use and Risk of Functional Disability, Dementia, and Mortality among Japanese Older Adults: An Instrumental Variable Analysis	Qiuyi Liu	Department of Social Epidemiology, Graduate School of Medicine and School of Public Health, Kyoto University,
P- 36	持続可能な医療政策を実現する対話・合意形成コミュニケーション	岩田 崇	株式会社ハンマーバード 慶応義塾大学 SFC 研究所
P- 37	がん診療連携拠点病院への地理的アクセスの地域間格差：全国の町丁字を単位とした小地域分析	須藤 靖弘	大阪医科薬科大学医療統計学研究室
P- 38	医学部地域枠制度の運用におけるキャリアコーディネータの役割：千葉県の制度設計の経緯と変遷	吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター 千葉県キャリアコーディネータ
P- 39	医学部地域枠制度利用者の支援の現状と課題	佐藤 志央理	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

日本医療政策学会 第2回学術集会 プログラム

演題番号	ポスター演題名	筆頭演者氏名	筆頭演者所属
P- 40	【第2報】地域医療提供体制データ分析体制の構築と政策形成への示唆 —千葉県における報告—	三保 健	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
P- 41	第8次医療計画在宅医療分野の施策の記載状況	松本 佳子	医療経済研究機構
P- 42	【第1報】地域医療提供体制データ分析体制の構築と政策形成への示唆 —千葉県における報告—	鈴鹿 竜司	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
P- 43	二次医療圏における在宅医療供給体制と自宅死亡割合の関連	飯田 英和	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
P- 44	糖尿病患者の医療費に影響を与える要因の検討 —KDB データと GIS を活用した分析—	大田黒 誠也	広島大学医学部保健学科
P- 45	医療政策教育に資する学生主体の学習・交流プラットフォーム：公衆衛生実践者を招聘した講演会活動の報告	辺見 咲紀	千葉大学医学部
P- 46	本邦の眼科・耳鼻科用抗菌薬の処方状況についての調査	野口 太郎	西陣健康会 堀川病院
P- 47	Joint association of sedentary behaviour and physical activity with cardiovascular disease: a systematic review and meta-analysis.	Frances Rom M Lunar	Department of Social Epidemiology, School of Public Health and Graduate School of Medicine, Kyoto University, Japan

■ 寄付企業一覧

株式会社 JMDC

合同会社 H.U.グループ中央研究所

フィッティングクラウド株式会社